

春季 よみがえる沖縄1935

KYOTOGRAPHIE 京都国際写真祭2019アソシエテッド・プログラム

KYOTO GRAPHIE 4/13(土) - 6/29(土)

※臨時開館：4/14(日)、5/5(日) ※無料公開：5/18(土) 国際博物館の日



沖縄 糸満 魚を運ぶ漁師 1935年 (朝日新聞社提供)



沖縄 那覇市内の雑貨店 1935年 (朝日新聞社提供)

主催：立命館大学国際平和ミュージアム・朝日新聞社・沖縄タイムス社

アジア太平洋戦争末期、過酷な戦火にさらされた沖縄。その10年前の1935年、沖縄には人々の平和な暮らしがありました。近年朝日新聞社で発見されたネガには、貴重な戦前の沖縄の営みが写し取られていました。そのうち約100点の写真に、朝日新聞・沖縄タイムスの共同取材時の解説を加え、「1935年の沖縄」を描き出す写真展を開催します。あわせて当館所蔵の沖縄関連資料も展示します。

沖縄戦で一変した沖縄。戦前の日常生活の中にも戦争の影がひそみ、その後の沖縄と日本全体がたどった道とを考えることで、1935年以降、現代へと繋がる沖縄をめぐる問題にせまります。

関連企画 座談会&ギャラリートーク ネガ発見秘話と記者たちの思い
4/27(土) 13:00-15:00 1階ロビー
※企画のみ参加無料・申込不要

世界報道写真展2019 —WORLD PRESS PHOTO 19—

9/23(月・祝) - 10/5(土) 滋賀(立命館大学びわこ・くさつキャンパス エポックホール)
10/7(月) - 10/31(木) 京都(立命館大学国際平和ミュージアム 中野記念ホール)
11/3(日・祝) - 11/15(金) 大分(立命館アジア太平洋大学)



世界報道写真展 2018 「人々の部 組写真」組写真 1位
アダム・ファーガソン
オーストラリア、ニューヨーク・タイムズに提供
2017年9月21日

ナイジェリアで「ボコ・ハラム」の戦闘員に誘拐された少女の肖像。爆発物を身体に縛りつけられ、自爆するよう命じられたが、逃げ出し、助けを得ることができた

関連イベント開催予定

世界報道写真展は、オランダに本部を置く世界報道写真財団が毎年開催している世界報道写真コンテスト入賞作品で構成した写真展で、今年で62回目を迎えます。立命館大学では、1995年より毎年開催しています。この地球上で起きているあらゆる出来事を、最高の技術と取材力をもって撮影した写真は、人びとに現実を強く訴える力を持っています。世界の現状を知り、いま一度、平和とは何かを考えるきっかけにさせていただきたく開催するものです。

秋季 上野誠展 —反戦・平和の木版画家(仮)—

11/7(木) - 12/18(水)

※無料公開：11/16(土) 関西文化の日



上野誠「火焰地蔵」1972年(館蔵)

広島・長崎の原爆をテーマに「ヒロシマ三部作」や「原子野連作A-H」を手掛けた木版画家上野誠(1909-1980)。戦前から反戦運動や労働者へのまなざしを主題にしていた上野は、1954年、原水爆禁止を訴える広島の被爆者との出会いをきっかけに原爆被災シリーズを描き始めました。1961年には長崎を訪れ、差別や貧困、後遺症の苦しみを抱える被爆者に直接話を聞きました。戦後復興から取り残された彼らの訴えは、制作の原動力となり版画集「原爆の長崎」(1970年、新宿書房)に代表される作品群に結実しました。上野が一貫して表現してきた反戦・平和への思いを遺された作品と当館所蔵の関連資料から伝えます。

特別展

春季特別展 よみがえる沖縄1935

世界報道写真展2019

秋季特別展 上野誠展
—反戦・平和の木版画家(仮)—

ミニ企画展示

東日本大震災の記憶〜[3.11]の“これまで”と“これから”〜

写真展：生きて、繋いで—被爆三世の家族写真—

キューバと日本の絆をさがして

ハンパク1969 —反戦のための万国博—

熟覧Ⅳ —メディア資料室への誘い—

第13回立命館附属校平和教育実践展示

トルコで何が起きているのか
日本とトルコ、クルド難民の今

ミュージアム主催企画

東日本大震災の記憶

〜[3.11]の“これまで”と“これから”〜

4/1(日) - 4/26(金) 主催：志麻克史

東日本大震災発生から8年、被災地の“これまで”を振り返り、現状を見つめ、復興や支援のあり方など“これから”を考えます。



防災対策庁舎(宮城県南三陸町)

写真展：生きて、繋いで—被爆三世の家族写真—

5/1(水) - 5/25(土) 主催：被爆三世これからの私たちはproject

“孫だから、聞けることもある——”
原爆投下から74年。祖父母の実体験を直接聞ける最後の世代である私たちは、その記憶をどう受け止め、次の世代へ伝えていけば良いのだろうか。今後を考えるきっかけの写真展です。



「生きて、繋いで」

キューバと日本の絆をさがして

6/3(日) - 6/28(金) 主催：安保寛尚(立命館大学法学部准教授)

2018年夏、キューバへの日本人移民120周年を記念し開催した、立命館大学の留学プログラムの様子をご紹介します。

ハンパク1969 —反戦のための万国博—

7/17(水) - 8/24(土)

1969年8月、大阪城公園を会場に、全国から多くの若者を集めたハンパク(反戦のための万国博覧会)から50年。「ハンパク」は何をもたらしたのでしょうか。

熟覧Ⅳ —メディア資料室への誘い—

9/1(日) - 9/28(土) ※臨時開館：9/1(日)

ミュージアム学生スタッフが選ぶおすすめの図書や収蔵資料を紹介。

第13回立命館附属校平和教育実践展示

10月-12月

立命館学園附属5校による、各校の平和教育の成果をリレー形式で展示。

夏休み子ども企画「へいわ」ってなに?? 2019

7/27(土)

夏休みは、ミュージアムで見て・感じて・考えて！平和について学びましょう。平和や私たちの暮らしについてのお話や、夏休みの自由研究にも役立つ企画を予定しています。



教員向け見学説明会

7/23(水)・24(木)・25(金)、8/19(日)・20(月)・21(火)

小学校・中学校の教員を対象とした見学説明会(無料・要申込)を開催します。見学説明会では、平和講義体験、貸出教材キットの紹介、ボランティアガイドの案内による見学体験、団体見学個別相談会を行います。

2019年(第39回)平和のための京都の戦争展

7/29(日) - 8/4(日)

主催：平和のための京都の戦争展実行委員会
詳しくは同実行委員会へお問い合わせください。

e-mail: heiwa.sensoten@kyotokikanshi.org Tel: 075-231-3149

イベント・企画

特別展

ミニ企画展示